

2013年度しょうえい幼稚園自己評価表 学校法人沼津頌栄学園 しょうえい幼稚園

評価者 園長 石川 望・教職員7名

1 経営理念

経営理念	キリスト教保育 自由保育(統合保育)	あそび・あそぶ・あそぼうから創造(自由)保育へ —みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—
------	-----------------------	--

2 経営目標・評価項目・評価

☆評価基準 十分 ◎ 概ね十分 ○ やや不十分 △ 不十分 ×

経営目標	評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
つながる基礎	1、園生活の基本を身につける。	1	3	3		・もっとメリハリをつけ、ことばがけ、導入も工夫する必要がある。司会者ははっきり大きな声で。	△を少なくしたい。
	2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。					・ホールでの合同礼拝を落ち着いた雰囲気できるように工夫したい。	
	3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。					・1学期半ばは落ち着かなかったが、後半からは聖書の言葉について考えたりお友だちのことを思ってお祈りしたりと静かに落ち着いてまもれた。	
	自由遊び後、園児はスムーズに片づけに入る。	1	3	3		・預かり前のお片付け、預かり中のお片付けはできていない。	片付けは園児にとり苦手なものなので目標をもったり、次に楽しい計画をして言葉掛けしてほしい。
	園児たちの園生活のきまりが身につくように援助する。	1	5	1		・教師が声を掛けないとなかなか片付け始めることができない。ほめたり認めたりして片付けの習慣がつくように工夫。	園生活のきまりを楽しい中にもわかりやすく伝えたい。けがにも気を付けてほしい。
	園児たちの親もとから離れるさびしさやケンカした時の悲しさを教師は理解する。	2	5			・上履きをはいていないお友だちへの声掛け。	子どもへの共感はとても大切だと思う。
教師は園での絵本の読み聞かせをする。(毎日)	6	1			・活動の最後の片付け、掃除(絵の具をふくなど)まで活動ととらえ時間をとってほしい。何事にもルールがないと全員が楽しむことが不可能。中に不満を持って終わる子に気付く。	絵本を通してファンタジーの世界をどんどん広げてほしい。	
園は絵本の貸出しを通して園児たちがたくさんの絵本と出会う。	6	1			・週末にロッカーをきれいにする、かばんのチャックをしめる、くつをそろえるなど基本を見直し声掛けをした。	良い事なのでさらに絵本の充実を	
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。	5	2			・お話を聞き、気持ちをうけとめられるように心がけた。	教師自ら楽しむことも大切です。
	2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	4	3			・不安定な気持ちを満たしたりうまく切り替えさせられず事務室に行く子が時々いた。	
	園児たちが動植物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じる。	3	3	1		・読み聞かせの絵本がかたよらないようにしたい。	幼児期の命との出会いはとても大切です。
	絵本などを通して園児たちの平和への思いを強める。		4	3		・1日1冊絵本を読むように心がけた。	身近な仲良くするなどのわかりやすいテーマでいいと思う。絵本でなくても毎日の生活の中で伝えていけばいいと思う。
	教師は「統合保育研究会」(園内・学期毎)を行い、発達課題のある子を援助する。	4	2	1		・クラスで読んだ絵本を貸出日に借りるなどが多く色々な本を読み親しめるようにした。	これからひとりの人を大切にしながらクラス活動をしてほしい。
	園児が自分の意見や考えを積極的に表明し、同時に相手の意見を聞く力を育てる。	1	5	1		・絵本の日とても楽しみな様子だった。	△の人が気になるので理由がわかるといい。
信頼される幼稚園	1、保護者との意見交換を積極的に行う。	7				・	たいへん良いと思う。
	2、情報発信を充実させる。	6	1			・クラス活動、学年活動を保護者に伝わるよう写真も多くのせるようにした。	
	3、子ども・保護者・教師共に育ち合う関係を作る。	6	2			・	来年は2回にしてはどうか。
	園は園だより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	3	4			・フェイスブックに楽しい活動の様子を沢山アップしているのでも多くの保護者の方に	HP、フェイスブックの充実はとても良いと思う。
	園は学期に1回保育参観を行う。	4	3			・見てもらいたい。見れない方の為にHPの写真もどんどん更新していきたい。	
	保護者への講演会を年1回行う。	4	3			・来年度は保護者の承諾を得る。HPにもっと写真をのせられたらと思う。	益々保護者が話しやすい(相談しやすい)環境を
	園はホームページで広く幼稚園を公開する。	4	3			・話しやすい、伝えやすい関係づくりを心がけた。	毎回行事の意味・意義を確認し、なお無理なく楽しく。
	保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	2	5			・園の行事を無理なく円滑に行う。	参加する子が違うので別のほうが良いと思う。
園の行事を無理なく円滑に行う。	5	2			・未就園児の会「しょうえいであそぼうよ」を年10回程度行う。		
日常の教師間の連絡体制	4	3			・来年度はともだちの中に移行したい。	横の連絡「報連相」は大切です。	